学校番号	109

令和８年度　芸術科

教科	芸術(書道)	科目	(学)生活の中の書	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日常の生活の中に「書」がどのように生かされているかを知り、書道の創造的な活動を通して生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化についての理解を深める。
自己の感性を磨き表現する喜びを味わってほしい。それが生涯にわたって豊かな心を育み生きていく力になればと思う。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
書の表現方法や細筆・ボールペン・筆ペンなどの基本用筆を学び日常に使う書式に活用する
【思考力、判断力、表現力等】
手本を見ながら書き、学ぶだけでなく生活の中で応用できる力を身につける
【学びに向かう力、人間性等】
様々な場面に対応できる書写能力を育てながら主体的に自己表現する能力を高める

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	書の表現方法や形式などの多様性について理解を深め、作品を効果的・創造的に表現するために必要な技能を身につける。	身近な素材を扱った作品に取り組むことで興味・関心をもち意図に基づいて構想し、個性豊かに表現を工夫し、書の美を味わい深く捉えるようにする。	書の伝統と文化と関わり、主体的に表現及び鑑賞の創造的活動に取り組み心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	実用書	・硬筆・筆ペンなど身近な筆記具を用い丁寧、きれいに書く習慣を身につける ・はがき・封書など基本的な書式等を学ぶ ・慶事・忌事の基本的な書式等を学ぶ ・一般的に使われる書き方を理解し日常生活に生かすようにする	a:・漢字の書を構成する様々な要素について理解している。 ・用筆運筆から生み出される書の表現性とその表現効果との関わりについて理解している。 b:・目的や用途表現形式に応じた全体の構成について工夫している。 c:自身の表現の意図に基づく表現をする幅広い学習活動に主体的に取り組もうとしている。	提出作品	提出作品 活動の様子 ワークシート	活動の様子 提出作品 ワークシート
	創作1	商品ラベルの表現・制作を通して身近な生活の中で生かされている書を探し、自分たちの生活でどのように生かすことができるのか考える	a:・用筆・運筆から生み出される書の表現性とその効果との関わりについて理解している。 ・線質・字形・構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。 b:生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 c:主体的に書のよさや美しさを甘受し作品や書の意味や価値について考えながら幅広い学習に取り組もうとしている。	提出作品	提出作品 活動の様子 ワークシート	活動の様子 ワークシート
1・2	漢字仮名交じりの書	・いろは歌 ・絵手紙 気持ちを表現する 文字と絵の響きあい	a:漢字かな交じりの書の線質・字形・構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。 b:感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫している。 c:主体的に漢字かな交じりの書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。	提出作品	提出作品 活動の様子 ワークシート	活動の様子 ワークシート

	ゴム印	・書体の変換についての関心 ・篆刻における表現の工夫	a:篆刻の意義と技法について理解している。 b:自らの意図に基づいて表現を構想し工夫している。 c:自身の表現の意図に基づく表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	提出作品	提出作品 ワークシート	活動の様子 ワークシート
2・3	ステンシル	・トートバッグ(またはTシャツ)に書のデザイン 効果的な文字表現 色彩を入れた楽しい表現	a:目的や用途・意図に応じた効果的な表現の技能、書体、書風、配字等による全体の構成の技能を身につける。 b:作品の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え書の良さや美しさを味わって捉えている。 c:主体的に創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。	提出作品	提出作品 ワークシート	活動の様子 ワークシート
	創作2	・カレンダー制作 個性的・創造的な表現を工夫する 数字や英語などの書表現 ・大きな作品 書の表現によって思いが伝わることを理解する 現代の書とは伝統と文化を生かしながら現代の言葉を個性的、創造的に表現することを理解する 用具・用材の特徴を理解し自らのイメージに合う表現を工夫する	a:目的や用途・意図に応じた効果的な表現、漢字と仮名の調和等による全体の構成の技能を身につけている。 b:創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。 c:主体的に漢字仮名交じりの書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしてうる。	提出作品	提出作品 ワークシート 活動の様子	活動の様子 ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度